

あるま・めーと



愛・母(フランス語)≡三愛精神の母校が絆きずな

酪農学園関東甲信越同窓会

発行者 酪農学園関東甲信越同窓会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号

東京交通会館11階 酪農学園東京オフィス内

電話 03-6269-9955

発行責任者 関東甲信越同窓会会長 岡田 勉

「先輩の良き文化遺産を若人へ」



関東甲信越同窓会 会長

岡田 勉(酪農2期)

2013年5月富士山が世界遺産に登録され、2020東京オリンピックが9月に決定しました。関東はまさに時の地であると感じます。

先輩は学校の同窓会は文化遺産であると唱えています。酪農学園を築いてきた先人の文化を後世に引き継いでいくことがその時の同窓会の役員の使命であると思います。関東同窓会は来年で40周年を迎えますが、幸いにもその文化の片鱗を「あるまめーと」という形でつないでいます。本号で20号となります。

期の途中会長を引き継いで1年半になりますが、去年は関東同窓会を1都10県の関東甲信越同窓会に名前を変更することができました。これで先輩が長年唱えてきました連合同窓会の関東甲信越地区としての形が整い、これから学園の「東京オフィス」とともに先輩の文化遺産を次世代に伝えるべき中心的役割を果たしていかなければならないと思います。

80周年を迎えた酪農学園は次の100年に向けて「生き生きと過ごす若人が集う学園作り」の計画案が示されました。この時代を担う我々も良き先輩の「酪農魂＝文化遺産＝三愛精神、健土健民、実践教育＝競り勝つより、共存する」を次世代へ繋ぐには、良い学園になって継続さ

れることが卒業生の誇りです。先生方々もまさに世界に誇れる人材を輩出し、世界でも目のとまる研究論文を発表していただきたいと思います。

そのためには同窓会としてもすでに「入試アドバイザー」「東京オフィス」などを紹介し優秀な人材を北海道へ送ることもしていますが、今後はITを使い、ウェブの公開講座(北大、畜大、酪大などで)などを行い世界の人が酪農学園の「ユニークな講座」を視聴できるようにお願いしたいとも思っています。優秀な人材を幅広く集める一つの手段でもあると思います。

去年は「組織財政検討委員会」で2015年に向けて高校、短大、大学、獣医学部など単位同窓会を一つにし、連合同窓会へ管理を移行する方向性を提言しました。これで地区の同窓会にも財政の流れもできてくると思います。ますます次世代に向けて横の交流(各支部との交流)を増やしていきたいと思います。

これから超高齢化社会がやってくると思います。先んじて動物を通して「ペットセラピー」「ペットケア」「ペットバイオレンスケア」「ペットパワハラケア」などの公開講座などあれば学園のユニークさが前面に出るものと思われます。そんな講座を関東地区でも行えたらと思っています。



同窓会連合会の活動について



酪農学園同窓会連合会 会長
野村 武

常日頃、関東甲信越地区同窓会員の皆様には本会運営に対するご理解、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

関東甲信越地区は10支部・会員数5,527名と大所帯ではありますが、同窓会活動も活発で毎年、地区支部総会を立派に開催されています。また、東京オフィスを拠点として酪農学園の諸行事への支援・協力はもとより酪農学園大学入試アドバイザーへの協力、就職活動への支援など地区同窓会のリーダー格として立派にご活動していることに深く敬意を表しております。

○同窓会連合会の現況について(2013年6月現在)

卒業生数は大学26,561名、大学院1,481名、短大9,487名、高校18,590名、酪農義塾303名、酪農学校92,000名で総合計148,422名となり。全国を12地区同窓会、55支部(北海道5地区16支部、東北地区6支部、関東甲信越地区10支部、中部地区6支部、近畿地区4支部、中国地区3支部、四国地区3支部、九州地区7支部)が現在活動しております。

なお、20支部が未設置であり特に北海道地区における支部の設置、再構築が喫緊の課題となっており、学園創立80周年を迎えた今日、全国を網羅した同窓会ネットワークの形成が急務であります。

関東甲信越地区同窓会・支部別卒業生数

支部名	大 学	短 大	高 校	地区計
茨 城	287	74	31	392
栃 木	364	107	25	496
群 馬	303	92	41	436
埼 玉	602	97	80	779
千 葉	542	111	77	730
東京都	839	133	107	1,079
神奈川	544	103	80	727
新 潟	259	69	18	346
山 梨	52	17	8	77
長 野	307	68	34	409
計	4,099	871	501	5,471

(2012年度末)

発行日 2014年1月

○今後の同窓会連合会について

組織財務検討委員会からは、2015年に向けて高等学校、短期大学部、大学同窓会校友会の3単位同窓会を統合して地区支部会を含めた連合会ではなく集合体としての組織統合を図り、組織、財務を一元化した仮称「酪農学園同窓会」を新たに設置する答申案が出されている。

全国津々浦々で活躍する同窓生が共に酪農学園の学舎で学び、青春のひとときを共有した同窓として設置学校の垣根を越えて親睦を強めると共に母校酪農学園の発展の為に絆の全国ネットワークの確立を目指していきたい。

- 1) 会則の変更：各同窓会の会則を基に標準化を図る
- 2) 会費の集中管理：予算配分委員会による各単位同窓会、地区支部への効率的に配分を図る
- 3) 役員統合：各単位同窓会、地区同窓会を網羅した執行体制
- 4) 運営組織の統合：組織運営委員会の運営による広報部、事業部、会計部を設置
- 5) 事務センター設置：学園所管として事業および会計の運営
- 6) 組織の拡大：学生、生徒、教職員を含めた同窓会

○終わりにあたり

関東甲信越地区同窓会の新たな役員体制皆様(会長・岡田 勉、副会長・五十嵐 健夫、後藤 久雄、齋藤 達夫、唐仁原 景昭、北村直人、大津 初司、田中 可子、事務局長・城近 泰、理事25名他)のご活躍をご祈念申し上げますと共に同窓会連合会への益々のご協力・ご支援を切望する次第であります。



同窓生会館

(ホームページより)

学長就任のご挨拶

酪農学園大学 学長 干場 信司



関東甲信越同窓会の皆様には、常日頃、本学の運営、特に入学生の確保から卒業生の就職につきまして、絶大なるご支援をいただき、感謝申し上げます。本年4月から、学長の役割を与えられております干場です。この度は、ご挨拶の機会を与えていただき、有り難うございます。

本学の素晴らしい建学の理念を実現することが、学長の任を与えられた私の役割であると思っています。本学の建学の理念は、ご存じの通り「三愛精神とそれに基づく健土健民」ですが、私はこの理念がとても好きです。特に「健土健民」は「よく言ったものだなー」といつも感心しています。「健土健民」は、健康な「自然－植物（作物）－動物（家畜）－食－人」のつながりを示していますが、これは、「家畜福祉」

「動物福祉」の問題や、環境問題、食の安全・安心の問題など、現在世の中で問題となっている多くの課題に答えることのできる、深い意味を持ったそして世界に通じる哲学だと思っています。

この「健土健民」を実現する手段が「循環農法図」で示される循環農法であり、私は、海外でも自信を持ってこの話をさせてもらっています。また、これらの素晴らしい哲学を実現させるための教育が実学教育ですが、「現場から学んで現場に還す」を私なりの合い言葉としています。

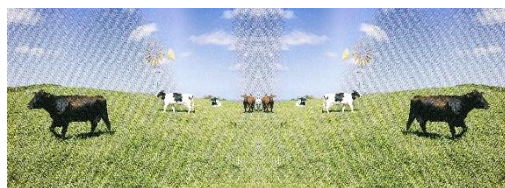
残念ながら、日本の農業関係の大学や研究機関のほとんどが農業の現場から遠ざかった存在となっているのが現状ですが、だからこそ、本学が頑張らなくては！と思っているところです。

学内的には、上述した本学の素晴らしさと本学が今抱えている課題について、全教職員が認

識を深める必要があります。同時に、すべての英知を集結して課題の解決に当たるとともに、我々の教育・研究の成果を世の中へ、世界へ発信したいと考えています。そのためには、まず学内・学園内すなわち教員同士・職員同士・教員-職員間・大学-高校間・学園-大学間で、コミュニケーションを活発にして行くことが大切だと思っています。

さて、酪農学園は、本年、お陰様で創立80周年を迎えました。これは、卒業生の皆様方が最初に述べさせていただいた建学の理念を、80年間にわたって営々と繋いできたことを意味します。「北海道にある酪農学園大学」というイメージと共に、卒業生の皆様方のご活躍が、世の人々や受験生の目を私たちの大学に向けさせてくれていると思っています。

今後とも、受験生の確保や就職先の斡旋等をはじめ、本学の運営にご協力をいただけますようお願いいたします。また、多くを占める若い層の同窓生が参加しやすい関東甲信越同窓会にして下さることもご期待申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



※ 新支部長挨拶

埼玉県支部長 廣間 喜之（酪農12期）



私は、今年埼玉県支部第18回総会において支部長に就任した廣間善之（酪農学科12期、サッカー部、家畜管理、出身神奈川）と申します。これまでご活躍された前支部長の後藤久雄さんの後任として、その資質と能力はと問われると正直、全く自信がありません。郵送されたホルスタインの封筒を開け、同窓会会報「あるまめーと」を読むだけの卒業生でした。読めば、同窓会を大切にする先輩諸氏の母校への熱い思いが込められていました。私はというと、教員としての仕事に追われ、いたずらに時間だけが過ぎていました。そんな折、ある先輩から同窓会へのお誘いの連絡をいただきました。以前から何らかの形で活動に参加できたらと思ってはいたのですが、支部長は無理だと思いました。その時、頭の片隅に、第一次南極観測越冬隊長、西堀栄三郎氏の「石橋を叩けば渡れない」という言葉がうかび、「そうか、石橋は叩いたら渡れないのか」と思ってしまったわけです。今思うと、少しは叩いた方が良かったのかも知れません。頼りない支部長ですが、精一杯頑張る所存です。幸い、前後藤支部長さんをはじめ役員の皆さんや、相談役の南雲さんが温かい雰囲気でご支援してくださるので、私の無謀な選択も良しとしなければなりません。今年、支部が抱えている課題は行事の見直しを含めた組織の活性化です。活動の第一歩はそこからだと考えています。最後になりましたが、関東甲信越同窓会の絆をさらに深め、会員の皆様方のご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



発行日 2014年1月

東京都支部長 須田 利明（機農農経1期）

東京都支部はここ数年活動が停滞しておりましたが、第8回定期総会（7月末日開催）で、新役員体制が発足いたしました。

新体制では、支部長・副支部長・事務局長等、各単位同窓会より幅広く選出し新たに事務局次長を新設し、女性の登用も図りました。

新体制下で、9月に役員会（理事・監事・顧問）を開催して、今後一年間の活動予定を策定しました。

- ・支部会員は現在1,080名で連合同窓会では6番目、本州地区では最大の支部であります。
- ・当面は、役員同士の意思疎通と連携親睦を深める。（適宜役員会等を開催）
- ・支部総会をはじめ、各種会合への参加率の向上を目指す。

来年度の定期支部総会は平成26年7月5日（土）に酪農学園東京オフィスで開催します。その際に記念講演として「世界が求める健土健民」と題してご講演願う予定にしております。

- ・東京都の場合は前身が関東同窓会であり、各県に支部が設立されたり、設立状況にあることから遅れた経過にありますが、通算すると来年は40年になります。
- ・東京都支部は設立は新しいが、経過としては40年の重みのある支部です。

今後は支部内の体制強化、活動の前進を目指して、多くの方々の意見を参照しながら、東京都支部として、同窓会連合会や関東甲信越同窓会へいろいろな事項等について、積極的に発言・発信していきたいと考えています。

（2013年10月）



平成24年度交流会点描

平成25年2月11日～12日に、復活2回目の交流会が開催されました。場所は、交通の便やコスト及び参加人員等を検討した結果、はからずも昨年と同じ鬼怒川温泉となりました（ホテルは違います）。17人の参加があり、全員漏れなく近況報告を致しました。

ご高齢にもかかわらず、北海道から東北へとスキー行脚を続けている同窓生、卒業した高校へ進学推薦を義務付けている某大学の情報を披露した同窓生、突然襲われ生じた心の傷が未だ癒されず、必死の回復を目指すも道半ばの同窓生等々、心に深く刻まれた話が数々ありました。

夕食は懇親会を兼ね、色とりどりの料理、空になった本数だけ運ばれるというお酒を傾けながら、交流を深めました。二次会は各部屋で行われ、そこに栃木県支部差し入れの酒や肴が、彩りを添え交流はさらに深まり、夜もまた深まりました。同窓会交流会の目的は、十分果たされたと確信しております。

寒さのつる如月、じっくり温泉につかり、気の置けない仲間（同窓生）と親交を深めるなんざあ、ちょっと乙ではありませんか。是非次年度のご参加をお待ちしております。

関東甲信越同窓会
事務局長 城近泰



交流会参加のみなさん

25年度関東甲信越同窓会 定時総会報告

平成25年度関東甲信越同窓会定時総会が、6月8日(土)東京オフィスにて開催されました。来賓を含め30人の参加を見ました。今回の総会には3つの特筆すべき点があります。

1つめが、神奈川県支部との共催です。一昨年は東京都支部、昨年は埼玉県支部との共催でした。2つめが、理事長が来賓として参加されたことです。3つめが、特別講演で広い意味での地元丹沢大山がテーマになったことです。酪農学園大学の鈴木透准教授より、鹿の増加や登山客の増加によって森林が衰えてきた丹沢大山を種々の取組みにより再生した実績の報告がなされました。

議事については、
第1号議案 平成24年度事業報告 決算報告、第2号議案 平成25年度事業案 予算案ともども原案通り承認されました。第3号議案 役員改選については原案通り承認されましたが、監事2名のうち1名が事務局長代行を兼務とするのはいかなるものかとの意見が出され、会長よりこの件につき役員会にて検討し決定するとの回答がありました。

総会終了後同場所で懇親会が開かれ、新潟県支部差し入れのうま酒をも酌み交わし、懇親を深めました。

関東甲信越同窓会
事務局長 城近泰



平成25年度事業計画

月・日	事業内容	会場他
4月17日	会計監査及び役員会	東京オフィス
6月8日	総会 神奈川県支部総会共催	東京オフィス
6月9日	埼玉県支部総会	さいたま市別所沼会館
6月～11月	役員会 各県支部総会 埼玉県支部キャンプ あるまめーと編集会議	
12月	役員会	
26年2月	交流会	

平成25年度主な開催行事表

日 時	支部名	行事内容	会 場
4月17日(水)15:00～	関東甲信越	役員会	東京オフィス
6月2日(日)11:00～	山梨県支部	定期総会	甲府ニュー芙蓉
6月8日(土)13:30～	関東甲信越	定期総会	東京オフィス
6月8日(土)14:15～	神奈川県支部	定期総会	東京オフィス
6月9日(日)10:30～	埼玉県支部	定期総会	別所沼会館
7月13日(土)10:30～	新潟県支部	定期総会	新潟東映ホテル
7月27日(土)13:30～	東京都支部	定期総会	東京オフィス
8月27日(火)13:00～	関東甲信越	4役会	東京オフィス
11月2日(土)13:00～	高校同窓会	合同同窓会	東京オフィス
11月9日(土)15:00～	東京都支部	講演会	東京オフィス
12月4日(水)13:00～	関東甲信越	役員会	東京オフィス

酪農学園関東甲信越同窓会 役員名簿			
(任期:平成25年4月～27年3月)		25年4月現在	
会 長	岡田 勉	酪農2期	同窓会連合会副会長 千葉県支部顧問
副 会 長	五十嵐 建夫	農経3期	東京都支部長 (あるまめーと編集員)
	後藤 久雄	機農農経1期	埼玉県支部長
	齊藤 達夫	酪農4期	栃木県支部事務局長
	唐仁原 景昭	獣医2期	千葉県支部長
	北村 直人	獣医4期	東京都支部理事
	大津 初司	短大6期	群馬県支部副支部長
	田中 可子	三愛女子8期	東京都支部副支部長
事務局 長	城近 泰	酪農7期	埼玉県支部副支部長 (あるまめーと編集員)
事務局 長代行	小宮 俱子	獣医4期	埼玉県支部理事・監事兼務
事務局 次長	渡會 福次郎	酪農3期	埼玉県支部事務局長 (あるまめーと編集員)
会 計	田中 道明	酪農17期	神奈川県支部長
理 事	益子 勲	酪農1期	栃木県支部長
	三田 孝幸	獣医6期	群馬県支部長
	平島 勝教	獣医7期	山梨県支部長
	石月 晋	酪農1期	新潟県支部長
	田中 清司	獣医5期	長野県支部長
	小松 泰史	獣医14期	白樺会代表
	満澤 恵治	機農農業21期	長野県副支部長
	加藤 効示	農経15期	栃木県支部庶務・会計
	小浦 隆文	酪農13期	千葉県支部監事
	西井 義昭	短大13期	東京都支部監事
	上野 達	短大10期	茨城県支部副支部長
	齊藤 洋	農経5期	神奈川県支部事務局長
	渡辺 仁	酪農21期	山梨県支部事務局長
	須田 利明	機農農経1期	後援会常務理事 (あるまめーと編集員)
	高澤 靖	農経6期	千葉県支部理事 (あるまめーと編集員)
	佐々木 六朗	短大11期	埼玉県支部監事
	志村 智子	短大33期	あるまめーと編集員
	野島 加代子	三愛女子7期	埼玉県支部副支部長
	角 真知子	三愛女子9期	神奈川県支部理事
	福山 二仁	獣医3期	東京都支部理事
理 事・監 事	中島 剛	酪農3期	東京都支部理事
	藤村 翼	酪農2期	神奈川県支部顧問
	廣間 喜之	酪農12期	埼玉県支部
	平岡 征雄	農経3期	神奈川県支部顧問
	小宮 俱子	獣医1期	埼玉県支部理事
顧 問	古田 修吾	酪農学園創期	東京都
	八重樫 鉄男	短大1期	静岡県
	草地 道一	短大1期	東京都
	戸水 雅智	短大3期	東京都
	野田 修平	短大6期	東京都
	南雲 良三	短大8期	埼玉県
	安達 宗之介	酪農3期	神奈川県
	平山 久	短大6期	栃木県



イタリアンレストランチェーン
世界最大 1,300店舗以上

酪農2期

監査役

岡 田 勉

株式会社サイゼリヤ
〒342-0008 埼玉県吉川市旭2-5
TEL.048(991)9611 FAX.048(991)9637
携帯:090-7265-6664
E-mail:T.Okada@saizeriya.co.jp

※はなのある食卓

3.11 以降の酪農家の奮闘

放射能汚染と戦う日々

那須町共同利用模範牧場 場長 金子 恒夫
(酪農 8 期)

3.11 東日本大震災による東電福島第一原発の事故で飛散した放射能汚染と戦っています。

我々は、福島県境と接する栃木県那須町が経営する共同利用模範牧場（総面積 330ha、草地面積 220ha）の立て直しの命を行けて、20 年度から嘱託場長を拝命し、預託牛：乳牛 400 頭・和牛 100 頭のキャパを超えるような草地・飼養管理に、営業にと努力し、震災の 23 年度：乳牛 502 頭・和牛 115 頭の開場以来の増頭にしたいものの、24 年度：乳牛 403 頭、25 年度：乳牛 403 頭になっています。

何故なら、セシウム汚染による給与制限によるもので、23 年度は 300be/kg でしたが、24 年度から 100 be/kg となり、25 年度では、100 be/kg 以下でも、24 年度に 100 be/kg 以上であった牧区は放牧を自粛するようにとの指導があり、牧場全体で 100 be/kg を超す牧区は 2 牧区ですが、12 牧区 75ha が自粛牧区となっています。物理的除染せよとのことですが、傾斜地で、耕起すれば表土は流され、川へ汚染表土が、草地は荒れ地になり、積み上げてきた土作りは無となります。それが見え見えでしたので、セシウム濃度の高い牧区には、吸収抑制になるとの指導を受け、堆肥と N-K 肥料の施肥を実施してきましたが、100 be/kg 以下になっても、未除染草地とされ、放牧自粛の指導を受けています。

100 be/kg 以下なら放牧解除となるよう、県担当と交渉していますが、除染した草地との関係とかまた高くなると問題だから等の曖昧な問答の終始で前へ進まず、増頭の営業はできませんが、現預託牛の管理に全力を傾け、DG*底上げに頑張っています。25 年度も、夏季預託も

発行日 2014 年 1 月

11 月 1 日で終了し、11 月 2 日からは強風と雪との戦いとなる冬季預託となります。

最後に、当牧場は NHK 大河ドラマ「八重の桜」スタートのシーン大野が原での追い鳥狩のロケ地となったところです。

※DG (ディリー・ゲイン=1 日当たりの体重増加量)



太田屋牧場

酪農 19 期

太田屋 進

〒351-0033
埼玉県朝霞市浜崎390-27
tel&fax 048-456-1852
Email ootayafarm@yahoo.co.jp

Kanamachi Animal Clinic 金町 アニマル クリニック

獣医 15 期

院長 増田 寿子

東京都葛飾区金町2-29-6 KACビル1F
Tel. 03-3609-7517 Fax. 03-3609-3515

株式会社ゼンテック販売

酪農 13 期

代表取締役
社長

川上 幸二

〒140-0001 東京都品川区北品川1-8-11
ダヴィンチ品川Ⅱ 8F
TEL. 03-5783-7401 (代表)
FAX. 03-5783-7410

酪農 1 期

酪農学園同窓会連合会山梨県支部
昼間のうどん屋<定休日 水・木>
水墨・墨彩画教室

墨游庵 高橋 僚一

〒408-0036 山梨県北杜市長坂町中丸2, 105-1
Tel. 0551-32-3076

埼玉県支部 北畑光男（酪農7期）



何十年ぶりかで大学の生協に寄った時です。被災地の支援を続けている学生たちが報告の用紙を配っていました。学生達の活動は知っていただけに、そんな後輩の姿に接し、不意に、私のなかから熱いものがこみ上げてきました。

どうやって生きていくのか／立ち尽くす一人に／渡された一本の水入りペットボトルを／一口飲んで／生き残った手から／手へ受け継いでいるのである／少年の頃であったか／木の切り口から滲み出る水に／口をつけたことがある／あれは／木のなかを流れる川であったか／家族や家を失ってもなお／心の水脈を涸らさず／耐えているのは木の人である／その人の首のなかを／水のおりていくのが透けて見えたようであった／水を残して飲む人は木の人／心のなかに川をもつ木の人である／新しい街路樹にもなる木の人／広げた葉の下に人を休ませる木の人である／季節外れの吹雪が／木の人を／はげしく揺すっているのである／テレビを見ながら水を飲むぼくには／吹雪も／水のありがたさも見えたようで／何ひとつ見えない／遠い不明である

（遠い不明）詩集『北の蜻蛉』（花神社）より。

この詩集は震災から八か月後の十一月に刊行されました。それが思いがけず、第十九回丸山薫賞を戴くことになりました。二度目の全国賞です。前にもまして文学賞選考委員の仕事が増えましたが、伝統ある農民文学賞選考委員の声を戴いた時には酪農学園大学で学んだからだ、と勝手に思い嬉しく誇らしくさえなりました。また、日本現代詩人会理事長にも推薦されました。

後輩諸君のひたむきな姿を心の鏡に映し、私も精進していきたいと思います。

発行日 2014年1月

北畑 光男（埼玉県支部副支部長・酪農7期）
さん、第19回丸山薫文学賞受章に輝く

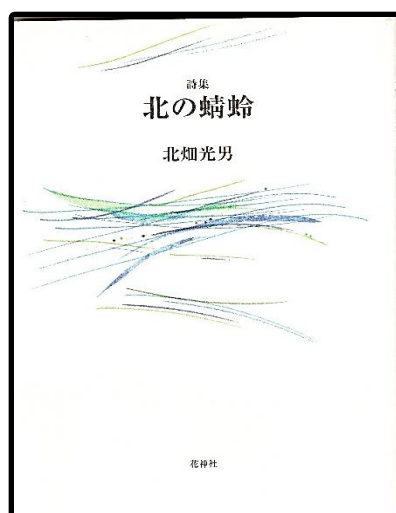
このほど芥川賞など数ある文学賞のなかでも名高い、第19回丸山薫賞（事務局：愛知県豊橋市・丸山薫賞運営委員会）の荣誉に北畑さんが輝いた。

受章詩集は『北の蜻蛉』花神社発刊。

また、平成12年10月20日、埼玉県本庄市が主催する、本庄市図書館文芸講演会において、《「孤独の力」～詩人の作品をとおして》と題して、高村光太郎、金子光晴、宮沢賢治、村山昭夫等の作品にふれ、人間誰しも孤独、孤立に遭遇したとき「他者への思いやりがあってこそ」自分を見つめ直す機会となり、自分に力を得られることと思うと解説、多くの聴衆者へ感動を与えた。

（酪農学園大学入試アドバイザー、日本現代詩人会、日本文芸家協会、埼玉詩人会、埼玉文芸家集団などに所属。詩集の発刊多数）

文責：佐々木 六朗（短大11期 埼玉県支部）



丸山薫賞は、詩人の丸山薫の業績を記念して、丸山が12歳から在住した豊橋市（愛知県）が設けました。毎年、優秀な詩集を出版した人に厳正な審査の上贈られます。なお、この賞の提案者は小田実です。

酪農学園創立80周年記念式典および祝賀会を開催

学校法人酪農学園は10月1日（火）、札幌市のホテル札幌ガーデンパレスにて創立80周年の記念式典および祝賀会を開き、道内を中心に全国から教育および酪農界の関係者など340名が出席しました。

式典は午後3時30分から藤井創宗教主任の司式により礼拝形式で行われ、オルガンの前奏と讃美歌の合唱で始まりました。肥田信長宗教主任の聖書朗読、祈祷の後、麻田信二理事長が式辞を述べました。

麻田理事長は「本学園は、北海道酪農義塾にはじまり、高校・短大・大学・大学院、さらには通信教育・酪農学校から約15万人の多くの人材を送り出し、社会の第1線で活躍がみられることは地方の中小規模の学校としては特筆すべきことである。しかし、その80年の道のりは平坦なものではなく、今日を迎えることができたのは、偉大な先人達の献身的な努力、企業、団体、同窓生のみならずはじめとする多くの方々のご支援・ご協力のおかげでございます」と感謝の意を述べました。

また、本学の建学の精神に触れ、健土健民、三愛精神は永遠不滅の真理であることを強調し「北海道を東洋のデンマークにと北方寒地農業の確立に力を注いだ先人達の熱い思いを今一度思い出し、持続可能な真の文明社会の担い手を数多く育成し、地域の発展と世界の平和のために貢献していくことが酪農学園の使命である」と力強く語りました。

引き続き、高橋はるみ北海道知事より祝辞があり、広大なキャンパスを生かした特色のある教育といち早く食品や環境の教育課程を取り入れ、時代の流れを的確にとらえた多くの取り組みが高く評価されていることに触れ、「80周年を契機に、土を愛するという建学の精神とこれまで培ってきた伝統を末永く受け継がれ、チャレンジ精神あふれる心豊かな若者の育成を通じて、北海道のますますの発展にご協力いただきたい」と述べました。

その他三好昇江別市長、森本正夫北海道私学団体連合会議長、森本正夫北海道私学団体連合会議長、仙北富志和学園長、北海道農業協同組合中央会の飛田稔章会長、後援会の宮田勇理事長、同窓会連合会の野村武会長等々のご挨拶がありました。（ホームページより抜粋）



日本獣医生命科学大学客員教授・顧問
 酪農学園大学獣医学部特任教授
 農場管理獣医師協会会長
 酪農学園大学獣医学科同窓会会長
 公益社団法人日本獣医師会顧問

獣医4期

獣医学博士 北村 直人

衆議院前議員(昭和61年～平成17年)

自宅 〒158-0081 東京都世田谷区深沢4丁目1-1-412
Tel 03-5707-2517(FAX兼)

文化庁選択無形民俗文化財
 脚折雨乞行事保存会（4年毎オリンピック年に開）
 雨乞行事 委員 **後藤 久雄**
 〒350-2213 鶴ヶ島市脚折 1484-24
 携帯 090-8327-2492
 E-mail hgo510@w7.dion.ne.jp
 関東甲信越同窓会副会長 埼玉県支部顧問

機農農経1期

KVS CO.LTD今井家畜診療所
児玉家畜ETセンター

獣医5期

代表 今井 賢太郎

〒367-0253 埼玉県本庄市児玉町河内858-1
 Tel:0495-78-0241 fax:0495-78-0509

●和牛体内受精卵の生産・販売（宅配可）
 ●牛体内受精卵の出張採卵（北関東のみ）

SHINJUKU VETERINARY CLINIC
新宿動物病院

獣医18期

院長 高橋 恒彦

本院:東京都新宿区新宿7丁目11番5号けやきハウス2F
 Tel 03-5272-1323(代) Fax 03-5272-1878
 豊島分院:豊島区南長崎2丁目21番9号オーシャンサイン
 Tel 03-5982-1377(代) Fax 03-5982-1366

 グルメ コンシェルジュ
株式会社 **シンポフーズ**
URL: <http://www.shinpoh.com>

営業部 マネージャー
鷹 股 修 一
S. TAKAMATA

〒143-0011 東京都大田区大森本町1-2-20
代表TEL: (03)5763-2411
直通TEL: (03)5763-2425
FAX: (03)5763-2420
E-mail: takamata@shinpoh.com
携帯電話: 090-1058-8804

酪農 19 期

酪農学園同窓会栃木県支部 **酪農 4 期**

事務局長 **齊 藤 達 夫**

〒321-0404 栃木県宇都宮市芦沼町2762
tel. 028-674-2119

食品の衛生・安全・安心を供給する

理工協産株式会社 **酪農 13 期**

取締役 営業本部長 **小 浦 隆 文**

〒104-0028
東京都中央区八重洲2-8-1 日東紡ビル
tel 03-3281-8821 fax 03-3281-8215
URL <http://www.ricohkyosan.co.jp>

酪農学園同窓会栃木県支部 **酪農 6 期**

副支部長 **桑 島 信 也**

〒321-0135 栃木県宇都宮市五代3-7-18
tel. 028-653-2625

 **富士食品工業株式会社**

取締役生産部長 **渡 辺 仁** **酪農 22 期**
Hitoshi Watanabe

<http://www.fujsyoku.co.jp>

ISO22000/FSSC22000
JAS-ANZ
FA-030
<http://www.jas-anz.org/register>

〒405-0013
山梨県山梨市鴨居寺170
TEL 0553-22-2611(代)
FAX 0553-22-4125
E-mail h-watanabe@fujsyoku.co.jp

酪農学園同窓会埼玉県支部 **酪農 12 期**

支部長 **廣 間 喜 之**

〒344-0062 埼玉県春日部市粕壁東4-6-10
TEL-FAX 048-754-6347

酪農学園同窓会栃木県支部 **酪農 1 期**

支部長 **益 子 勲**

〒321-0135 宇都宮市五代三丁目5-43
tel. 028-653-9762

佐藤建設株式会社 **農経 12 期**

取締役社長 **佐 藤 明 夫**

〒140-0001 東京都品川区北品川3-5-5
電話 03-5463-9931
FAX 03-5463-9933
E-mail: gsp27629@mifty.com

ケペル動物病院 **獣医 15 期**

院長
獣医師 **大 橋 透**

〒165-0027 東京都中野区野方6-6-2
tel. 03-3338-3554

編集後記 3.11 大震災による東電福島原発の事故から、もうすぐ3年となりますが、酪農家の苦労は栃木県金子恒夫さんのレポートにありますように想像以上です。

須田利明さんが東京都支部長に就任したことで編集員辞任の申し入れにより、新たに佐藤晴美さん（三愛女子高9期、東京都支部）が編集委員となりましたのでご報告いたします。

あるまめーとは皆さんとともにあります。記事の投稿をお願いいたします。お待ちしております。